



ランサムウェアって？

◆身代金要求型不正プログラム／業務停止招く恐れも

Q－「ランサムウェア」という言葉を最近よく聞きます。

A－身代金を意味する「ランサム」と「ソフトウェア」を組み合わせた造語で、コンピューターウイルスの一種です。パソコンやサーバーがランサムウェアに感染すると、端末がロックされたりデータが暗号化されたりして利用できなくなり、犯人はその状態からの復旧と引き換えに身代金を要求します。暗号化する前にデータを盗み出し、身代金を支払わなければデータを公開すると言って金銭を要求する二重恐喝（ダブルエクストーション）も増えています。規模や業種を問わず、企業が主なターゲットとなっています。

Q－身代金を払えば元通りになるの？

A－残念ながら身代金を支払ってもデータが元通りになる保証はありません。身代金を支払うことはランサムウェアが有効であると犯人に示すことになり、次の被害につながる可能性があります。身代金の他にも、端末のロックで生じたシステムダウンによる業務の停止や、機密データや個人情報の流出による社会的信用の低下など、被害は想像を超えます。感染しないことが何よりも重要です。

Q－変なメールが届いたけど、大丈夫かな？

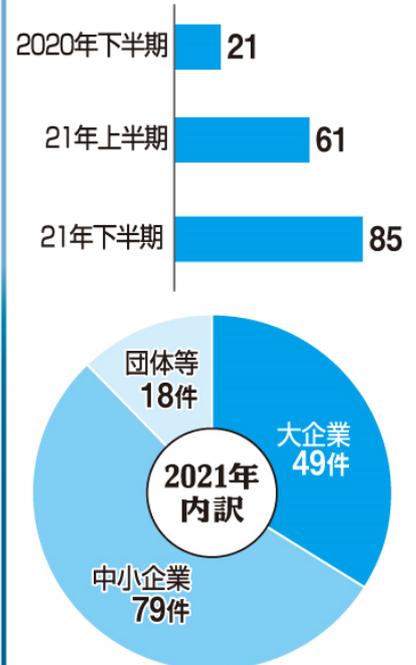
A－これまでも添付ファイルの開封や、本文に記載されたURLへのアクセスといったメールを介した感染事例はありました。特にパスワードが本文に記載してある添付ファイルや、リンク先のURLが隠れているメールは危険です。不審なメールは送信元を確認するなど、十分警戒してください。感染経路は他にも、コロナ禍で普及したテレワーク関連機器からの侵入が報告されています。

Q－どんな対策が必要なの？

A－基本的な対策は、パソコンを最新の状態に保つ、セキュリティーソフトを使用する、定期的にデータのバックアップを取ることです。IPA（情報処理推進機構）によると、組織向けの脅威として「ランサムウェアによる被害」が2年連続で1位になっています。企業は基本対策を取った上で、感染の手口や脅威について啓発活動に取り組み、組織としての防衛力を高めることも必要でしょう。

（北陸経済研究所の吉田聡子が解説しました。）

企業・団体のランサムウェア被害報告件数



出典：令和4年2月10日 警察庁
「令和3年におけるサイバー空間をめぐる驚異の情勢等について」